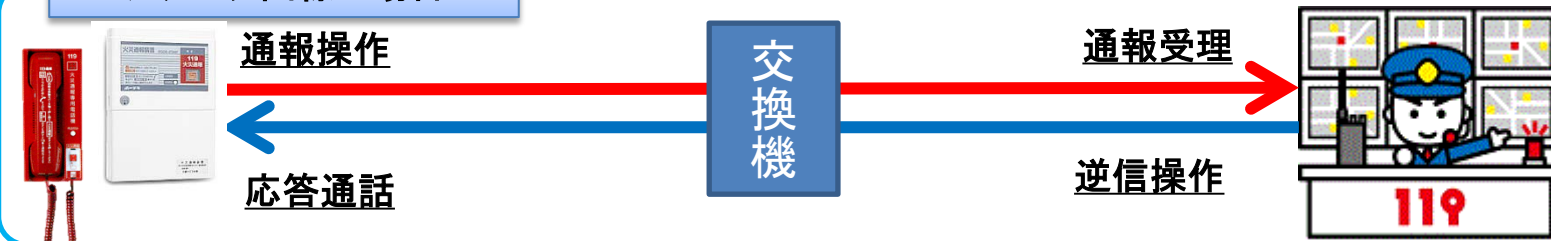
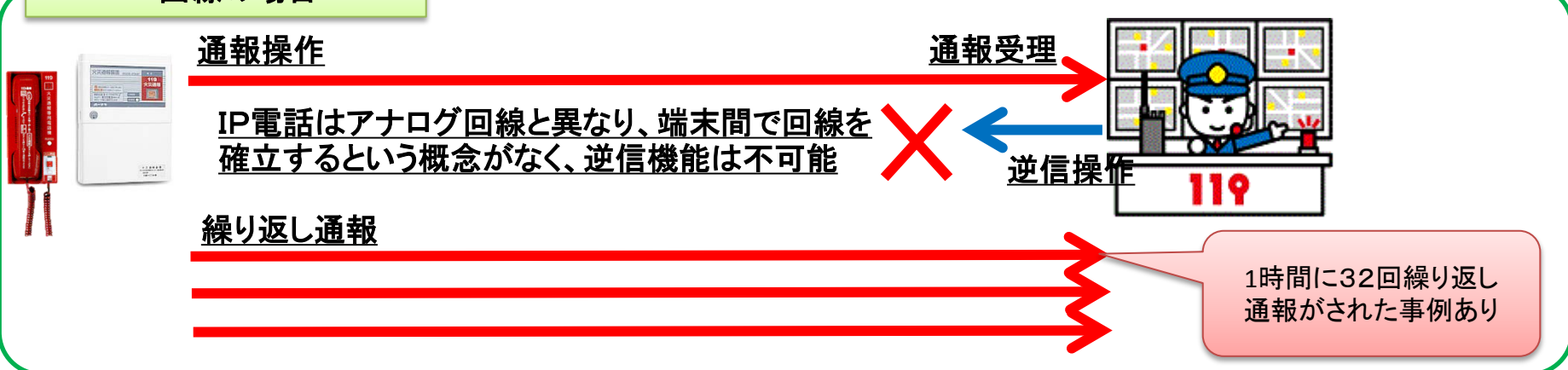


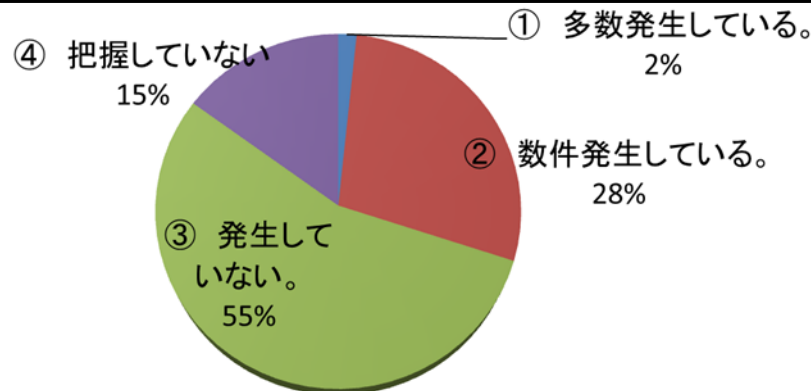
アナログ回線の場合



IP回線の場合



IP電話への誤接続による不適切な通報の発生について



火災通報装置に係る運用実態について

ハンズフリー機能を有する火災通報装置(特定火災通報装置※)

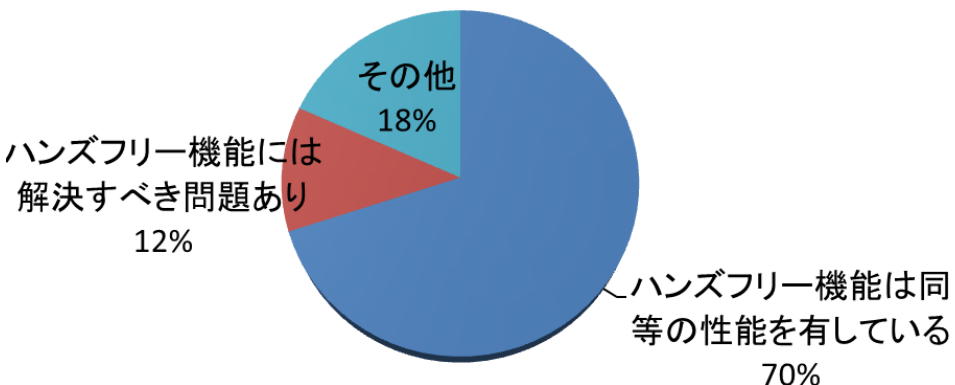


※特定火災通報装置

・500㎡未満の福祉施設等にのみ設置可能な簡易型の火災通報装置

メッセージ送出後、自動的にハンズフリー通話に切り替えのため逆信機能不要

ハンズフリー機能の火災通報装置について



●ハンズフリー機能のメリット

呼び返しに対応できない場合でも、自動的に通話となるので周囲音を消防で聴取できるため、状況を把握する助けとなる可能性がある。

●ハンズフリー機能のデメリット

- ・呼び出し音がないので関係者が気づきにくい
- ・周囲音を拾うため、通話内容が聞き取りにくい場合がある。

H26.1 消防庁調べ(政令市及び全国消防長会予防委員会消防本部への調査より)

逆信機能が不要なハンズフリー機能等を活用することで、IP電話に接続時の問題を解決できる。ただし問題点もあり、さらに機器仕様等について検討が必要